

(2) せきこんでいる

咳は、気管支にたまった痰（たん）や気管支内の不必要なものを放り出そうとして生じるものです。すなわち本来、咳は肺や気管支をきれいにするためのものであるとともに、肺や気管支に起こっている異常を知らせる警告でもあります。

咳を生じる原因はたくさんあり、緊急を要するものや様子をみているだけでよいものもあります。咳き込んでいても元気であれば様子をみて、翌日医療機関を受診してよいでしょう。しかし激しい咳き込みとともに他の症状がみられるときは急いで受診しなければなりません。例えば顔色が悪い、グッタリしている、咳き込んで何度も吐いている、息苦しく肩で息をして横になって眠れないなどです。

いずれにしても、お子さんの状態をしっかりと観察し症状が進んでこないかどうかを観察することが大切です。

医療機関救急受診のポイント

（救急外来を受診しましょう）

- ▶ 息苦しく横になり眠れない
- ▶ 元気がなくグッタリしている
- ▶ 咳き込んで吐くことを何回も繰り返す
- ▶ 顔色が悪くチアノーゼ（唇や爪の色が紫色になる）がみられる
- ▶ 発熱が続きしかも急に咳込みが強くなった
- 急に咳き込みだして息苦しく横になって眠れないとき



息がゼーゼーヒューヒュー鳴り、あるいは咳き込んで眠れない、咳き込んで何度も吐くなどの症状がみられる場合は医療機関を受診してください。

夜中に犬やオットセイみたいな咳をし、さらにどんどん咳込みが激しくなってきたときは急いで受診してください。

- 急に咳き込みでしたが横になって眠れるとき

翌日まで様子をみて受診します。

- 咳をしているが元気で食欲も普段とほぼ変わらないとき

あわてて医療機関を受診しなくともよいでしょう。

ただし咳が強くなってきたり何日も続くようであれば受診します。

- 咳が何日も続いている場合

時々咳をしているが元気があり食欲も普段と変わらないときは様子をみます。咳が増えてくるようであればかかりつけ医を受診します。

咳込みが強かったり、あるいは息がゼロゼロヒューヒュー鳴り、しかも息苦しくて眠れない日が続くときも医療機関を受診します。

家庭での対処方法のポイント（Q & A）

Q 1 息がゼーゼーヒューヒュー鳴ってるときはどうしたらいいですか？

気管支喘息（きかんしぜんそく）あるいは喘息性気管支炎（ぜんそくせいきかんしえん）と診断されたことがある方は、あらかじめ咳き込みだしたときの対応のしかたについて、かかりつけ医と話し合っておいてください。

今までにいわれたことがない場合で、咳が止まらないときや横になって眠れないくらい息苦しい場合は医療機関を受診してください。

Q 2 咳き込んで吐くことがあるときはどうしたらいいですか？

繰り返し吐くようであれば医療機関を受診してください。日に1、2回ぐらい咳き込んで吐く場合は、咳き込みがひどくなってこなければ、とりあえず様子を見てもよいでしょう。

Q 3 入浴していいですか？

水分が飲めていて自分で体を動かし遊べる状態であれば入浴は可能です。元気がなく水分も十分とれていないようであれば入浴は控えます。

この症状によくみられる代表的な病気は？

- ▶ 肺炎（気管支炎）
- ▶ 気管支喘息（喘息性気管支炎（ぜんそくせいきかんしえん））
（喘息様気管支炎（ぜんそうようきかんしえん））
- ▶ 百日咳
- ▶ 気道異物